

本稿は、バンク・オブ・アメリカが2015年11月17日に発表した英文プレスリリースを翻訳したものです。英文の原文と翻訳内容に齟齬がある場合には原文が優先します。なお、英文プレスリリースは、バンク・オブ・アメリカのニュースルーム <http://new.sroom.bankofamerica.com> でご覧いただけます。日本に関連する調査結果については、弊社日本チーフ株式ストラテジスト 阿部健児のレポートを併せてご参照ください。

平成 27 年 11 月 18 日

報道関係者お問い合わせ先：
メリルリンチ日本証券 広報部
03 6225 7550

**BofAメリルリンチファンドマネジャー調査：
リスク選好の動きが持ち直す**

12月の米国利上げ観測が大勢となる中、株式へのエクスポージャーが拡大

[ニューヨーク、2015年11月17日] バンクオブアメリカ・メリルリンチが発表した11月のファンドマネジャー調査によれば、米国FRBは12月に利上げに踏み切るとの見方が大勢となる中、投資家の間ではリスク選好の動きが幾分戻ってきました。直近の米国雇用統計の発表後、景気とインフレの見通しが著しく高まり、投資家はキャッシュ比率を引き下げる一方で、株式、不動産、オルタナティブ投資へのエクスポージャーを拡大させています。

- 株式を「オーバーウエート」としている資産配分担当者は差し引き43%と17%ポイントもの大幅な増加を示す一方、キャッシュの「オーバーウエート」は7月以来の水準に減少。
- 現在では5分の4の回答者が米国FRBは今四半期中に利上げに踏み切ると予想。
- 世界経済は今後12ヵ月間に「強まる」と予想する回答者は10月と比べて差し引きで22%ポイント増加し、世界経済見通しへの楽観的な見方が持ち直す。
- 現地ファンドマネジャーの中国の景気見通しに対する判断は中立に転じて、ここ1年以上で最も楽観的な水準となり、中国の減速に対する懸念の弱まりを示す。
- 米国ドルの先行きに関するコンセンサスの強まりを反映し、世界で最も選好する株式市場にユーロ圏と日本を挙げる投資家が増加。現在、差し引き67%が米国ドルは来年、上昇すると予想。
- 不動産とオルタナティブ投資の「オーバーウエート」は本調査開始以降で2番目の高水準に達する。対照的に、コモディティとグローバル新興国の「大幅なアンダーウエート」の水準は変わらず。

BofAメリルリンチ・グローバルリサーチのチーフ・ストラテジスト、Michael Hartnettは、「コンセンサスは量的緩和（QE）と米ドル高を手掛かりとするトレードへの集中を示唆することから、1994年と同様、「イベント」がFRBの利上げサイクルに水を差さない限り、資産価格の上昇余地は限定的とみられる」と述べています。

欧州クオונツ・ストラテジー責任者、Manish Kabraは次のように述べています。「欧州株はグローバル投資家の間で大きく選好されており、また、ECBが景気を巡る期待感を幾分高めたが、セクターのポジショニングからは、域内の資産運用マネジャーは確信が持てず、ベンチマークから離れようとしなないことがみてとれる。」

BofA メリルリンチファンドマネジャー調査

11月調査は11月6日から12日までの期間に実施されました。全体で201人の機関投資家が参加し、これらの機関投資家の運用資産総額は5,760億ドルに達します。その中でグローバルな質問に回答した機関投資家は164人で、運用資産総額は4,650億ドル。特定地域の質問に回答した機関投資家は92人、その運用資産総額は2,130億ドルでした。調査はBofAメリルリンチ・リサーチが市場調査会社のTNSの協力の下に実施しました。TNSは50カ国以上を網羅する自社の国際ネットワークを通じ、80カ国以上で国内・国際組織にマーケット情報を提供している世界第4位のマーケット情報グループです。

BofA メリルリンチ・グローバルリサーチ

BofAメリルリンチ・グローバルリサーチは世界の約3,350銘柄を超える株式と約1,250銘柄超のクレジットを調査対象とし、多くの機関によるランキングで上位に選出されています。直近では、インスティテューショナル・インベスター誌の2014年世界の調査部門第1位、2015年のAll-America調査で第1位、2015年Latin America調査で第1位、2015年Emerging EMEA調査で第1位、2015年のAll-Europe Fixed Income調査で第1位、2015年All-Asia調査で第2位、2015年のAll-America Fixed Income調査で4年連続の第2位となりました。また、同誌の2014年のAll-China調査で第2位に選ばれました。

バンク・オブ・アメリカについて

バンク・オブ・アメリカは世界トップクラスの金融機関の一つであり、個人、中小企業、及びを顧客とし、銀行業務、投資業務、資産運用業務、その他の財務管理及びリスク管理のための商品やサービスを幅広く提供しています。米国では、約4,700店のリテール銀行支店、約16,100台のATM、また現在3,200万人のユーザーが利用し、受賞歴もあるオンライン・バンキング、1,800万人以上が利用するモバイル・バンキングを通じ、約4,700万の個人や小規模企業の顧客と取引を行っています。バンク・オブ・アメリカは世界有数のウェルス・マネジメント会社であるとともに、企業金融、投資銀行、広範な資産クラスにわたるトレーディングにおいても世界的なリーダーであり、世界中の企業、政府、機関、個人などにサービスを提供しています。同社は、革新的でありながら利用しやすいオンラインの商品やサービスにより、約300万人の小規模事業主の顧客に対して業界有数のサポートを提供しています。バンク・オブ・アメリカは、50州すべて、コロンビア特別区、米国領ヴァージン諸島、プエルトリコ、および35カ国以上で顧客事業を展開しています。バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの株式(取引略号:BAC)はニューヨーク証券取引所に上場されています。

バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションがグローバル・バンキング及びグローバル・マーケット事業を行うための営業上のブランド・ネームです。貸出、デリバティブなどの商業銀行活動は、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションのバンキング関連会社を実施しています。これには、FDIC加盟銀行のバンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイが含まれます。証券、財務アドバイザーなどの投資銀行活動は、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの投資銀行関連会社(投資銀行関連会社)が実施しています。これには、メリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが含まれ、これらはFINRA(米国金融取引業規制機構)及びSIPC(米国証券投資者保護公社)加盟の登録ブローカーディーラーです。投資銀行関連会社が提供する投資商品はFDICの保険対象ではなく、損失が生じることがあり、銀行による保証はありません。

バンク・オブ・アメリカのさらなるニュースについては、バンク・オブ・アメリカのニュースルーム(<http://newsroom.bankofamerica.com>)をご覧ください。

www.bankofamerica.com